

5月〈皐月〉：なんにしても男の子の成長はめでたかった…

5日

5月節句（端午の節句）



献立 かしわ餅・小豆餅・くるみ餅・よもぎ餅・よもぎのし餅・きな粉（青豆を石臼で挽いた）

いわれ 無病息災や男の子の成長を願った。邪気払いで菖蒲湯に入り、菖蒲やよもぎを屋根、軒、戸口、窓に挿した。端午礼といって実家によもぎのし餅を持って行った。

馬の休み日

いわれ この日だけは馬を必ず休ませた。人も休み日だった。

中旬

● ● 田がき～しろかき ● ●



献立 赤飯・にしんの粕漬け・切干し大根・みずの酢の物・煮付け(ぜんまい・わらび・ふき・たけのこ・舞茸)・煮しめ(人参・ごぼう・しいたけ・こんにゃく・昆布・ふき・油揚げ)・やだら漬け(青豆・人参・昆布・大根)・たくあん漬け

いわれ させとり一人(難しい)・まんが押し一人。一枚の田んぼに五頭位の馬で荒くれがき～しろかきをやった。
朝早くから働き重労働だったので、ご馳走をたくさん作り1日に5から6回食べた。馬には煮豆を食べさせた。

下旬

● ● 田植え(入梅田植えまなか) ● ●

献立 「田がき～しろかき」と同じ

いわれ 仕事は朝早くから始めたので、朝飯からの用意だった。朝飯の他に小昼・お昼と午後の小昼も用意した。この季節の山菜は新鮮で、田植えみずと言って、みずをはじめ山菜は田植え時期の食材によく使われた。神様には小昼・苗・お酒をあげた。
各家々の主人が本家に集まり田植えの日取りを決めた。田植えの結いっこはかまどまきで行なった。
子どもたちも学校が農休みとなり子守りや苗運びを手伝った。